

大分市報

発行所 大分市役所
編集兼発行人 大分市役所代表者
三木 福寿
印刷所 高木印刷K

昭和三十七年 大分市定例 市議会終る

予算案など五十七件を決定

昭和三十七年大分市議会第一回定例会は市長の提出した議案五十七件、議員の提出した議案一件、昭和三十七年度大分市一般、特別会計予算及び水道事業会計予算案、昭和三十七年度大分市一般、特別会計予算及び水道事業会計予算案の五十七件を採決、一件を閉会中審議とし、三月二十日に終りました。

昭和三十七年度大分市一般、特別会計予算案の採決は、市長の提出した議案五十七件、議員の提出した議案一件、昭和三十七年度大分市一般、特別会計予算及び水道事業会計予算案の五十七件を採決、一件を閉会中審議とし、三月二十日に終りました。

プールの使用料を改める

市では、今年度の市営プールが、いよいよ三メートルもあり、危険であること、水もれがひどいこと、換水装置が壊れ、水を入れかえるのに、四日から五日の間、プールが閉鎖されること、このため、プールの使用料を改定することになりました。

最近わが国における産業経済の伸長と国民生活の上昇は、誠に目覚ましいものがあるが、これにともない、陸運交通も著しく増加、複雑化しつつあるため、交通事故が激増し、真に憂慮すべき状態である。特に大分市は、東九州交通の要衝にあり、地理的条件から市内の交通量は日毎に増加し、更に臨海工業地帯として発展する将来を予測するとき、市民の交通の便に対する脅威は益々増大するものと思われる。このとき、交通安全の確保を期して市民の総力を結集した交通安全運動を強力に推進するため、この大分市を「交通安全都市」とすることを宣言する。

交通安全都市を宣言

市内から交通事故をなくすため

敬老年金制度を制定

年額六千円を八十八才以上の方に

大分市では、新年度より市内に在る八十八才以上の高齢者の方々に、年額六千円の敬老年金を支給することになりました。この敬老年金は、昭和三十七年四月一日現在、八十八才以上の高齢者の方々に、年額六千円を支給することになりました。

敬老年金制度は、市内に在る八十八才以上の高齢者の方々に、年額六千円の敬老年金を支給することになりました。この敬老年金は、昭和三十七年四月一日現在、八十八才以上の高齢者の方々に、年額六千円を支給することになりました。



写真一 定例市議会最終日の委員長報告

人権擁護委員が さまりました

大分市の人権擁護委員が、このほど法務大臣から次の方々に委嘱されました。

- ・板山健一氏 永興
- ・安部秀山氏 下白木
- ・羽田野忠氏 中島四郎

人権擁護委員は、憲法に保障されている国民の基本的権利（国民が国家社会で幸福な生活を営むために必要な人間としての権利）が侵害されることのないよう、法務大臣から次の方々に委嘱されました。

人権擁護委員は、憲法に保障されている国民の基本的権利（国民が国家社会で幸福な生活を営むために必要な人間としての権利）が侵害されることのないよう、法務大臣から次の方々に委嘱されました。

青少年間 を設ける

大分市 題協議会

最近青少年の犯罪が増加し、大分市では、この傾向が著しくなっています。この傾向を抑制するため、大分市では、青少年問題を協議する「大分市青少年問題協議会」を設置することになりました。

大分市青少年問題協議会は、大分市青少年問題協議会を設置することになりました。この協議会は、青少年問題を協議する「大分市青少年問題協議会」を設置することになりました。

水 津津上部落に給

市の東端、津津上部落に給水設備を設置することになりました。この設備は、津津上部落に給水設備を設置することになりました。

津津上部落に給水設備を設置することになりました。この設備は、津津上部落に給水設備を設置することになりました。

在外私有財産の 受付は四月十日 で締め切ります

在外私有財産の受付は、四月十日で締め切ります。この受付は、在外私有財産の受付は、四月十日で締め切ります。

寄付のお願い

このたびは、大分市社会福祉協議会が、市内の各町会、地区に、社会福祉協議会を設立することになりました。このため、市内の各町会、地区に、社会福祉協議会を設立することになりました。

大分市社会福祉協議会は、市内の各町会、地区に、社会福祉協議会を設立することになりました。このため、市内の各町会、地区に、社会福祉協議会を設立することになりました。

